



暮らしづくり

～便利で快適な質の高い生活ができるまち～

- (1) 安全で安心につつまれた生活の確保
- (2) 健やかで心安らかな暮らしの充実
- (3) 利便性の高い生活基盤の整備
- (4) 自然と調和した生活空間の創造

(1)安全で安心につつまれた生活の確保

拡充 防災力向上事業費 2,605万円
(前年度) 1,993万円

担当課 地域防災課 電話番号 74-8021

事業概要
 防災拠点の機能整備(備蓄倉庫、備蓄用備品)や、指定避難所におけるWi-Fi及びテレビ受信環境整備のほか、防災訓練の実施、防災指導者の育成など防災体制を充実させることにより、市の防災・危機管理体制の強化を図ります。

(単位:万円)

財源	市債	1,160	経費内訳	工事請負費	1,340
	その他	295		負担金、補助及び交付金	619
	市の負担	1,150		その他	646



新規 消防広域事務委託費 4億8,263万円
(前年度) -

担当課 消防総務課 電話番号 30-7114

事業概要
 消防体制の充実・強化を図るため、消防事務(消防団事務、消防水利事務を除く)を高岡市に委託し消防広域化を行います。これにより、出動体制の強化や人材育成の充実、さらに大規模災害への対応力が強化されます。

(単位:万円)

財源	市の負担	48,263	経費内訳	委託料	48,263



新規 沿道林整備事業費 380万円
(前年度) -

担当課 農林畜産課 電話番号 74-8097

事業概要
 風雪害等で、電線等に被害の恐れがある道路沿いの樹木について、森林所有者等による自主的な森林整備に対する助成など、大雪や台風等による倒木を未然に防ぎ道路の通行止めによる孤立集落の発生防止等に努めます。

(単位:万円)

財源	市の負担	380	経費内訳	委託料	280
					負担金、補助及び交付金



拡充 緊急浸水対策事業費

1,547万円

(前年度)

1,262万円

担当課 ふるさと整備課

電話番号

30-7071

事業概要

平成29年7月1日の豪雨により浸水被害を受けた地区に対し、氷見市浸水被害対策連絡協議会において、浸水対策基本方針の協議を行っています。基本方針を基に、有効な対策の立案及び実施により浸水被害の早期軽減を図ります。

- ・園地区 : 短期対策の実施に向けた詳細設計
- ・宮田地区 : 対策検討に必要な流域の詳細調査
- ・十二町地区 : 対策検討に必要な流域の基礎調査

(単位:万円)

財源	市債	1,360	経費内訳	委託料	1,500
	市の負担	187		使用料及び賃借料	30
				需用費	17



豪雨による浸水(道路)

(2) 健やかで心安らかな暮らしの充実

新規 地域福祉計画策定事業費

433万円

(前年度)

担当課 福祉介護課

電話番号

74-8111

事業概要

誰もが地域社会の一員として、生きがいをもって、自分らしく安心して自立した生活を営むことができる「地域共生社会」の実現を目指した社会福祉づくりを地域全体で構築していくための基本方針を示す地域福祉計画を地域住民とともに策定します。

(単位:万円)

財源	市の負担	433	経費内訳	委託料	229
				需用費	118
				報償費	86



地域住民主体のきととき100歳体操

拡充 地域セーフティネット活性化事業費

2,365万円

(前年度)

2,068万円

担当課 福祉介護課

電話番号

74-8111

事業概要

「地域共生社会」を実現するため、高齢、障害、子ども、生活困窮分野など属性や世代を問わない包括的な相談支援や地域づくりに取り組む国の重層的支援体制整備事業を実施します。具体的には、多機関協働マネージャーや狭間のニーズに対応するコーディネーターを配置して、地域、専門職、行政が連携し支援を行います。また、身近な地域でも相談しやすい体制を整備します。

(単位:万円)

財源	国の負担	1,773	経費内訳	委託料	2,327
	市の負担	592		報償費	20
				その他	18



地域での相談会

拡充 包括的相談支援事業費

7,244万円

(前年度)

担当課 福祉介護課

電話番号 74-8066

事業概要

従来、子ども・障害・高齢・生活困窮の各分野ごとに行われていた相談支援について、各分野を区別することなく一体的に相談を受け止め、支援する体制を作るものです。これにより、多くの機関が協力して、より複雑な問題を抱える世帯や、問題がいくつも重なっている世帯の支援を行います。このうち、高齢者に係る事業費です。



(単位:万円)

財源	国の負担	2,789	経費内訳	委託料	3,078
	県の負担	1,394		需用費	346
	その他	3,061		その他	3,820

新規 医師住宅改修事業【事業会計】

631万円

(前年度)

担当課 病院事業管理室

電話番号 74-8126

事業概要

老朽化が進む金沢医科大学氷見市民病院の医師住宅において、築32年経過する医師住宅1棟を近年の生活スタイルやニーズ等にに合わせて改修し、住みやすい環境を整えて必要な医師を確保します。

改修概要 浴室 タイル張 → ユニットバス
 トイレ タイル張 → 床張
 台所 流し台・収納棚 → IHシステムキッチン など



(単位:万円)

財源	企業債	630	経費内訳	委託料	70
	繰入金	1		工事請負費	561

拡充 保健事業費〔特別会計〕

2,500万円

(前年度)

1,398万円

担当課 市民課

電話番号 74-8061

事業概要

人工知能(AI)を活用したより効果的な受診勧奨等を実施することで、特定健診の受診率の向上を目指します。

また、「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業」に取組み、高齢者一人ひとりの状況に応じたきめ細やかな支援を行うことで、健康寿命の延伸を図ります。



(単位:万円)

財源	県の負担	1,388	経費内訳	委託料	1,314
	諸収入	1,112		需用費	73
				その他	1,113

(3) 利便性の高い生活基盤の整備

拡充	まちなか整備事業費	1億1,159万円
		(前年度) 3,531万円
担当課	都市計画課	電話番号 74-8078
事業概要		
氷見駅及び駅前の更なる魅力化と、まちの玄関口となる空間づくりを進めており、駅前周辺における安全安心な交通の確保のための道路整備、駅利用者のパーク&ライドにも対応可能な駐車場整備を計画します。令和3年度は、土地所有者等関係者との協議や実施設計に取組み、補償・支障物件の調査や契約合意を目指すほか、取得した駅前ビルの解体に早期着手します。		
(単位: 万円)		
財源	国の負担 3,198	経費内訳
	市債 7,790	工事請負費 1,373
	市の負担 171	委託料 1,160
		その他 8,626



氷見駅前広場・周辺施設

継続	都市公園整備事業費(朝日山公園整備事業費)	2,681万円
		(前年度) 8,229万円
担当課	都市計画課	電話番号 74-8076
事業概要		
朝日山公園は、市街地全域の緊急避難場所に指定されており市街地に隣接した高台の避難場所として位置付けられます。令和2年度末で完成した朝日山公園見晴らしの丘と従来の公園を結ぶことにより一体的に活用でき、防災機能の拡充や市民の憩いの場の提供など、より効果的な機能を発揮します。令和3年度は、連絡道整備に関する測量や詳細設計を実施します。		
(単位: 万円)		
財源	国の負担 1,340	経費内訳
	市債 1,340	委託料 2,681
	市の負担 1	



朝日山公園 見晴らしの丘

継続	まちなかモビリティ運行事業費	542万円
		(前年度) 3,075万円
担当課	地域振興課	電話番号 30-2949
事業概要		
本市を訪れている観光客の多くは滞在時間が短い傾向にあり、年間120万人を超える観光客が訪れる道の駅「ひみ番屋街」から、中心市街地への新たな回遊をつくり、本市での滞在時間の延長を図る必要があります。そこで、本市を訪れる観光客が楽しく中心市街地を回遊することができる魅力的な新型モビリティを導入し、まちなかへの誘客を促進します。		
(単位: 万円)		
財源	国の負担 271	経費内訳
	市の負担 179	委託料 528
	その他 92	需用費 14



ヒミカ走行中

拡充 城端・氷見線地域公共交通総合連携事業費負担金

899万円

(前年度)

470万円

担当課 地域振興課

電話番号

30-2949

事業概要

JR氷見線は、JR城端線と一体となって通勤・通学など沿線住民の日常生活を支えるとともに、本市への来訪者が利用する公共交通機関として重要な役割を担っていることから、両線を維持し、利便性の向上を図る必要があります。

そのため、沿線4市で構成する「城端・氷見線活性化推進協議会」が実施する活性化のための事業の負担金を拠出します。



氷見線を走る忍者ハットリくん列車

(単位: 万円)

財源	市の負担	899	経費内訳	負担金、補助及び交付金	868
				旅費	31

(4) 自然と調和した生活空間の創造

拡充 不燃物処理センター整備事業費

7,585万円

(前年度)

835万円

担当課 環境防犯課

電話番号

74-8082

事業概要

不燃物処理センターの破碎設備は、昭和57年の稼働開始から39年を経過し老朽化が進行したことから、施設の長寿命化を図るため循環型社会形成推進交付金(補助率1/3)を活用し、基幹的設備の改良工事を実施するものです。

また、今回の改良工事では、省エネ機器の導入によりランニングコストの削減と二酸化炭素の排出削減を目指します。



不燃物処理センター

(単位: 万円)

財源	市債	5,740	経費内訳	工事請負費	7,095
	国の負担	1,837		委託料	190
	市の負担	8		その他	300

